

子育て講演会  
令和4年9月15日(木)  
参加者 6組 大人6名 乳幼児6名 計12名

# 演題「『発達の気になる』を考える」

講師:佐賀女子短期大学 准教授 中山 政弘 先生



夫婦、祖父母の子育ての考えは違うのが当たり前

- 育ってきた文化が違う  
親も結婚して共に生活していく中で、いろいろ違いが出てくる  
また、おじいちゃん、おばあちゃんは孫にいろいろおげたい  
親はどうでもない  
方法より、「目的」をそろえる

どんなところで「発達が気になる」と感じるのか

- 言葉が出てくる、出てこないが最初にな気になるのかな?  
言葉に反応しているかが大事  
男女でも差がある  
性格にもある  
話をしないからと言って言葉を持っていないわけではない
- 今やっていることからの切り替え  
活動と活動の切り替えがむずかしい  
親としてはすぐに切り替えてくれた方がいいのかな  
親がやりたいことと子どもがやりたいことが違う

待ってあげるところ

- イヤイヤ  
「イヤイヤ」に何でもかんでもつき合うのがよいのか  
私はどうでもないと思う  
自己主張なので大事なところ  
「伸ばしてあげたいところ」と「何でもかんでもいいというわけではない」  
面がある

相談する

- 自分の考えを整理する  
話をすることに意味がある  
解決してないがすっきりする ⇒ 頭の中が整理される
- 支えてくれる存在があることの安心感  
相談するときも相性があるので誰でもいいわけではない  
相談しやすい人に相談する  
お母さんたちも話しやすい人がいれば、それでいい!



参加者からは「言葉を理解していることと、言葉を発するかどうかは違うということを知っておくと、言葉がでなくて不安ということにはならないと感じた。相談することの大切さも改めて実感した。」「中山先生のお話を聞いて、これから子どもが成長していく中でどのような視点で見守っていけばよいのか気にかけることなどを知ることができました。」「子どもが産まれてから子育ての考えの違いで悩むこともあります。目的は一緒なのだと思えることができました。」「これから発達について悩んだり困ったいたら、ひとりで悩まずに必ず誰かに相談することの大切さがわかりました。」など、とても好評でした。

